

第 18 回全日本エンデュランス馬術大会 2017 実施要項

主催 : 公益社団法人 日本馬術連盟

運営 : 全日本エンデュランス馬術大会実行委員会

1. 競技日程 平成 29 年 9 月 22 日 (金) ~ 24 日 (日)

9 月 22 日 (金)

受付 12:00~14:00

(入厩時) 獣医検査 ~13:00

第 1 回インスペクション (競技前インスペクション)

13:00~15:00

開会式/ブリーフィング (選手打合せ会)

16:30~17:30

9 月 23 日 (土)

第 1 競技 選手権競技スタート 3:00

第 2 競技 80km 競技スタート 5:00

第 3 競技 60km 競技スタート 5:30

ベストコンディション審査 ※ブリーフィングにて発表予定

交流懇親会 18:30~

9 月 24 日 (日)

表彰式/閉会式 8:30~9:30

2. 会場 北海道河東郡 鹿追町ライディングパークを発着とする特設コース

緩やかな起伏・土、砂、舗装路

最大標高差 : 約 310m (海拔約 200m~510m)

3. 大会について

1. 競技種目	第 1 競技 選手権競技
	走行距離 120km (40km+30km+30km+20km 4 区間)
	走行制限時間 12 時間 00 分 (平均時速 : 10.00km/h)
	第 3 区間のカットオフタイム 14:20
	第 4 区間のカットオフタイム 17:00
	強制休止時間 第 1~第 3 区間後 40 分
	第 2 競技 80km 競技
	走行距離 80km (30km+30km+20km 3 区間)
	走行制限時間 8 時間 00 分 (平均時速 : 10.00km/h)
	第 2 区間のカットオフタイム 11:40

<p>2. 参加資格</p>	<p>第3区間のカットオフタイム 14:20 強制休止時間 第1～第2区間後40分</p> <p>第3競技 60km 競技 走行距離 60km (30km+30km 2区間) 走行制限時間 6時間00分 (平均時速: 10.00km/h) カットオフタイム 12:10 強制休止時間 第1区間後40分</p> <p>※実際の走行距離に合わせた制限時間はブリーフィングにて発表予定</p> <p>1. 選手は、申込時において本馬術連盟の登録会員で、かつ日本馬術連盟騎乗者資格 エンデュランス限定B級以上の取得者であること。また、年齢は14歳の誕生日を 迎える年からとする。なお、未成年(20歳未満)の者については保護者の承諾を 必要とする。</p> <p>2. 馬匹は、申込時において日本馬術連盟の登録馬であり、かつ下記の年齢を満たし ていること(年齢の起算日は、1月1日とする)。ただし、明らかに妊娠後期、す なわち妊娠120日を超える牝馬あるいは離乳前の仔馬を連れた牝馬は参加できな い。</p> <p>第1競技 選手権競技/第2競技 80km 競技 6歳以上 第3競技 60km 競技 5歳以上</p> <p>3. 各競技の参加資格は下記の通りとする。なお、完走実績の証明は、それぞれの主 催者の発行する完走証明書の写しが必要であり、それは国の内外を問わない。</p> <p>第1競技 選手権競技 ・選手: 80km 競技を2回以上完走していること(今大会より過去5年以内) ・馬匹: 80km 競技を2回以上完走していること(今大会より過去2年以内)</p> <p>第2競技 80km 競技 ・選手: 60km 競技を2回以上(内、1回はプレノービス可)完走していること ・馬匹: 60km 競技を1回以上完走していること</p> <p>第3競技 60km 競技 ・選手: 60km 競技を1回以上完走していること ・馬匹: 40km 競技を1回以上完走していること</p> <p>4. 日本馬術連盟の登録会員でない団体は、所属の名称として使用できない。</p>
<p>3. 競技会規程</p>	<p>日本馬術連盟競技会規程平成29年度版、日本馬術連盟獣医規程による。</p> <p>1. 負担重量 第1競技 選手権競技</p>

	<p>最低負担重量は 70kg（頭絡は除く）とする</p> <p>第 2 競技 80km 競技／第 3 競技 60km 競技</p> <p>最低負担重量は設けない</p> <p>2. 走行時間</p> <p>走行時間は第 1 区間スタートから最終区間フィニッシュライン通過までの時間とし、強制休止時間を減じたものとする。区間ごとの走行時間は、獣医関門インスペクション（各区間到着後インスペクション）のインタイムまでの時間とし、最終区間においてはフィニッシュライン通過の時点までの時間とする。走行時間が走行時間制限内であり、馬匹が最終獣医検査に合格したものを完走とする。</p> <p>※強制休止時間合計</p> <table data-bbox="782 593 1284 728"> <tr> <td>第 1 競技 選手権競技</td> <td>2 時間 00 分</td> </tr> <tr> <td>第 2 競技 80km 競技</td> <td>1 時間 20 分</td> </tr> <tr> <td>第 3 競技 60km 競技</td> <td>40 分</td> </tr> </table> <p>3. スタート</p> <p>スタートは競技每一斉に行う。</p> <p>4. 獣医関門検査エリア</p> <p>獣医関門検査エリアには、1 頭につき最大 2 名まで付き添うことができる。また、獣医関門検査エリアに入場する際は、主催者が提供するゼッケンを必ず着用していること。各区間走行後に行われるインスペクション（獣医検査）は区間到着後 20 分以内に受けること。心拍数についての再インスペクションについては 1 度だけ受けることができる。ただし、最終インスペクションはフィニッシュ後 30 分以内に受けることとし、心拍数についての再インスペクションは受けられない。</p> <p>5. 獣医関門（クレーエリア含む）および厩舎内への入場について</p> <p>獣医関門（クレーエリア含む）および厩舎内への入場は、1 頭につきグループム 3 名までとする。主催者提供のゼッケンの着用または入厩証の携行がなければ入場できない。</p> <p>6. 順位決定</p> <p>順位は、最終インスペクションに合格した人馬の中から走行時間の少ない順とする。</p>	第 1 競技 選手権競技	2 時間 00 分	第 2 競技 80km 競技	1 時間 20 分	第 3 競技 60km 競技	40 分
第 1 競技 選手権競技	2 時間 00 分						
第 2 競技 80km 競技	1 時間 20 分						
第 3 競技 60km 競技	40 分						
4. 選手の服装	日本馬術連盟競技会規程第 809 条による。また、バックガードの着用を推奨する。						

<p>5. 参加料</p>	<p>第1競技 選手権競技 57,000円/1頭 第2競技 80km競技 47,000円/1頭 第3競技 60km競技 42,000円/1頭</p> <p>※参加料の内、2,000円を任意のオリンピック協賛金とする。</p> <p>予備馬登録料 2,000円/1頭 事前入厩料 3,000円/1頭</p> <p>【参加料等振込先】 帯広信用金庫 鹿追支店 口座番号 普通 1032394 口座名義 全日本エンデュランス馬術大会 実行委員長 三井福成</p> <p>※一度納入した参加料等はいかなる場合でも返却しない。なお、主催者側の都合により競技を取りやめた場合は、この限りではない。</p>
<p>6. 申込方法および締切</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 申込締切日 平成29年9月1日(金) 17:00 必着 2. 参加申込書には人馬(予備馬含む)ともに、会員番号および登録番号を必ず記入すること。 3. 申込締切日以降の選手の変更および選手の出場種目の変更は認めない。 4. 申込締切日以降の馬の変更は、エントリー済みの馬あるいは予備馬の中でのみ受け付ける。また、この変更は1項目につき2,000円徴収する。 5. 未成年者の参加は保護者の承諾を得た上で行い、承諾書を添付のこと。 6. 申込書送付先 〒081-0341 北海道河東郡鹿追町瓜幕西3丁目 鹿追町ライディングパーク内 全日本エンデュランス馬術大会実行委員会事務局 TEL:0156-67-2345 FAX:0156-67-2348 7. 申込に不備等がある場合は、出場を認めない場合がある。また、参加申込締切後、書類の内容等に疑義が認められた場合は、大会役員の判断で取消す場合がある。

7. 入厩	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成 29 年 9 月 22 日（金）～24 日（日）を大会入厩期間とし、この期間中は大会役員が監視する。出場馬については 22 日（金）13：00 までに入厩すること。 2. 平成 29 年 9 月 15 日（金）～9 月 21 日（木）を事前入厩期間とし、一部コースを公開する。また、大会入厩期間までの連泊を許可する。ただし、馬の管理は自己責任において行うこと。なお、事前入厩期間と大会入厩期間で、馬房の位置を変更する場合がある。 3. 入厩は、大会実行委員会の指示に従って馬運車の移動を行い、会場に到着後速やかに、乗馬登録証および馬の健康手帳を大会本部に提出すること。 4. 参加馬および予備馬以外は、入厩できない。また、入厩時には本要項「8. 馬の防疫」の基準を満たしていること。
8. 馬の防疫	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「日本馬術連盟 検査・予防接種実施要領」に規定されている防疫要領を遵守のこと。また、その接種証明が記載された馬の健康手帳を携行すること。 2. 馬インフルエンザが疑われる馬匹は入厩できない。出発前 1 週間の臨床症状をよく観察し、馬インフルエンザを疑う症状がある場合は、獣医師に検査を依頼すること。 3. 馬輸送用馬運車は、積み込み前にその内部をパコマあるいは逆性石鹼等で消毒すること。 4. 入厩予定日において、輸入検疫後の着地検査中（3 カ月）の馬匹は出場できない。 5. 根室・釧路・網走管内から参加する馬匹については、馬パラチフス陰性の証明書（家畜保健衛生所発行）を携行すること。 6. 上記が守れない場合や申込書類に不備がある場合は、入厩を認めない。
9. 落鉄対策	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各自充分な対応をすること（改装・イージーブーツ等）。 2. 主催者で装蹄師の手配をするが、予備鉄は各自で用意すること。予備鉄がない場合、装蹄できないことがある（装蹄料は実費負担）。 3. 予備鉄は事前にゼッケン番号および馬名を明記して、大会本部に預けること。 4. 再装蹄の際は事前に大会本部に連絡し、スチュワード立会の下で行うこと。
10. ドーピング検査	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本大会に参加する全ての選手および馬匹を対象に、ドーピング検査を実施する。 2. 馬の管理責任者は、競技会での馬の騎乗者（競技者）とし、厩舎地区の保安管理の如何を問わず、自らの管理責任と薬物検査の結果に対する責任を免れることはできない。
11. 開会式／ ブリーフィング	<ol style="list-style-type: none"> 1. 選手または所属団体の代表者は必ず出席すること。（代理出席を認める） 2. ブリーフィングで決定あるいは確認した事項を優先する。

<p>12. 表彰式／褒賞／ 完走証明書</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 入賞者は必ず表彰式に出席すること。正当な理由なく表彰式に参加しない者は入賞の資格を失う。 2. 選手権競技の優勝者を全日本チャンピオンとする。 3. 各競技の出場数の上位 1/4 までを入賞とする。ただし、出場者が 20 名以下の場合は、第 5 位までを入賞とする。また、褒賞は下記の通りとし、入賞者に馬リボンを贈る。 第 1 位 優勝杯／賞状／メダル／厩舎掛け／副賞 第 2 位～3 位 賞状／メダル／厩舎掛け／副賞 ベストコンディション賞 賞状／副賞 4. 完走した人馬に完走証明書を交付する。
<p>13. その他注意事項</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 選手は傷害保険に加入していること。 2. メディカルカードをライダーズベストのポケットに必ず携行の上、走行すること。また、所属チームの責任者も各ライダーのメディカルカードの写しを準備しておく事。 3. 厩舎およびその周辺の清掃は、各自相互に協力して行うこと。清掃用具は各自持参すること。 4. 雨よけ・日よけの装備、発電機、火気及び何らかの設備の使用にあたっては、設置前に大会本部の承認を受けること。 5. 厩舎・クレーエリア・コース・クレーポイントは火気厳禁、禁煙とする、喫煙は指定された喫煙場所のみで行うこと。 6. 未明のスタートとなるので、必要な場合は各自照明器具等を準備すること。 7. この要項にない事項に関しては、関係役員（技術代表、大会委員長、審判長、チーフスチュワード、獣医師団長）の協議で決定する。 8. 競技会開催期間（第 1 回インスペクション開始時刻 1 時間前から各種目の最終成績発表時刻の 30 分後まで）における、調馬索使用時の追い鞭および同様の道具の使用は禁止とする。 9. 競技会開催期間中は、コース上を一般の方が通行する場合がありますので、走行には細心の注意をはらうこと。